

令和5年度夏季企画展

古代 中世の 墓を覗く

のぞく

・・・人は死者をどう扱ってきたか。・・・

令和5年7.22 田 ▶ 9.18 月 (祝日・敬老の日)



AZUMINO CITY TOYOSHINA LOCAL MUSEUM

安曇野市豊科郷土博物館

〒399-8205 長野県安曇野市豊科4289番地8 TEL 0263-72-5672 FAX 0263-72-7772

URL <https://www.city.azumino.nagano.jp/site/museum/>

【開館時間】 9:00~17:00 (入館受付は16:30まで)

【入館料】 高校生以上100円 (20名以上の団体は1名につき80円)

※中学生以下、安曇野市内在住の70歳以上の方、障がい者と付き添いの方1名は無料

【休館日】 月曜日・祝日の翌日

【アクセス】 JR大糸線豊科駅より徒歩15分 JR篠ノ井線田沢駅より車で10分 長野自動車道安曇野I.Cより車で5分



豊科郷土博物館
ホームページ

のぞ 古代・中世の墓を覗く

・・・人は死者をどう扱ってきたか。・・・

穂高古墳群E13号墳(金堀塚)石室

安曇野には、100基以上の古墳が残っている。明科中川手では平安時代の木棺墓が発見され話題となった。しかし、古代・中世の墓の発見は少ない。それも誰が埋められたかはわかっていない。ただ、厚い薄いはあるが、死者は何らかのかたちで葬られたようである。

江戸時代中頃、供養を目的とした墓石、先祖の墓が登場する。死者は別の場所に土葬されやがて忘れられていく。大正時代、火葬が一般化し供養と納骨ができる「〇〇家之墓」が登場し、家の墓が戦後できあがる霊園を埋め尽くす。

現在、墓じまい、合葬墓、散骨、樹木葬、など墓についての話題が世の中を賑わしている。家の墓が曲がり角にきているのである。

供養されず、だれが埋められたかわからない古代・中世の「墓」、それを覗(のぞ)き見てはいかががであろうか。現在の、そして未来の墓を考えるうえで、少しは役に立つのではないだろうか。



穂高古墳群E13号墳(金堀塚)遺物



明科遺跡群古殿屋敷木棺墓出土 鏡(平安時代)

シンポジウム

安曇野の古墳をめぐって ・・・群集墳て何?・・・

県内他地域の古墳群と比較して、
穂高古墳群を明らかにする

7月22日(土) 13:30~15:30

[会場] 豊科公民館 2階 大会議室

[参加費] 100円(資料代等)

[定員] 70名(先着順・要申込)

[申込] 7月1日(土) 9時より電話にて受付

[講師] 風間 栄一(長野市埋蔵文化財センター)
長野市大室古墳群(国史跡)

関沢 聡(松本市教育委員会) 松本市中山古墳群

白居 直之(安曇野市教育委員会) 安曇野市内の古墳群



講座

古代・中世の墓は何を語るのか
・・・現在の、未来の墓を考えるヒント?・・・

9月2日(土) 13:30~15:30

講師 原 明芳(当館館長)

[会場] 豊科公民館 2階 大会議室

[参加費] 100円(資料代等)

[定員] 70名(先着順・要申込)

[申込] 8月19日(土) 9時より電話にて受付

現地見学会

よみ
黄泉の国を覗(のぞ)いてみよう
～魏石鬼岩窟・陵塚の見学～

9月16日(土) 9:00~12:00

[集合場所] 有明山神社駐車場

[参加費] 100円(資料代・保険代等)

[定員] 20名(先着順・要申込)

[申込] 9月6日(水) 9時より電話にて受付

ギャラリートーク

8月5日(土)・9月9日(土) 【申込不要】

10:00~ / 14:00~ (両日とも)